

平成26年(2014年)12月27日

京都新聞夕刊連載



また長期的に偏った使い方をすることで左右差やゆ

く、動きにも影響を及ぼし

ます。

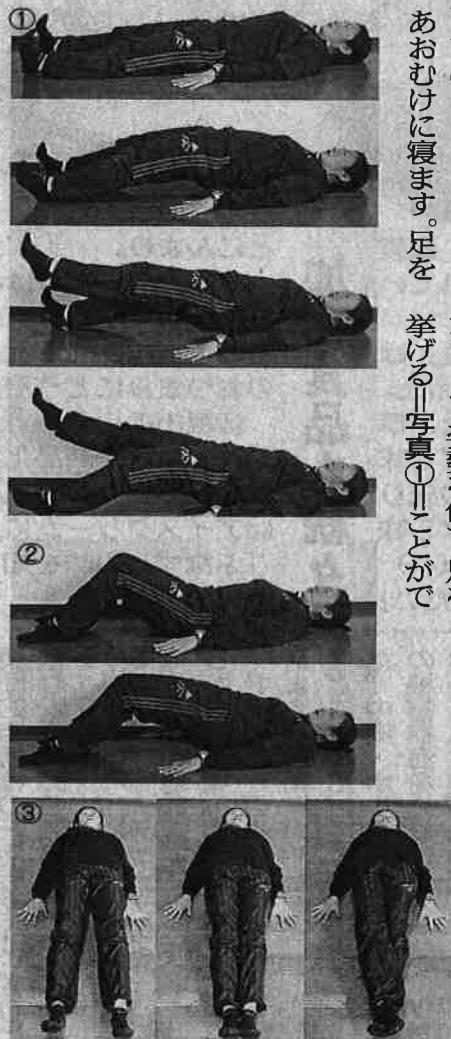
背筋は姿勢保持の筋肉と

して固定力に注目されます

が、実はさまざまな動きをサポートしています。解剖レベルで見ると背筋は多くの筋肉によって構成され、様々な方向に動きをサポートすることができます。偏った使い方は、固定力が低下するばかりでなく、動きにも影響を及ぼします。

前回の背筋の「固定力」はいかがでしたか? 今回は背筋の「バランス」についてです。

背筋の「バランス」



偏った姿勢で授
り組みましょう。

よく安定した姿勢で背筋をトレーニングすることが重要です。では、早速チエックしてみましょう。あおむけに寝ます。足を上げる! 写真①これが

支持で姿勢をキープします。アライメント(身体がまじめないよう)に注意しながらおむけに寝ます。足を上げる! 写真②これが

も裏)が使われているのが感じられます。チェックしないで、姿勢を保ち、足を上げる! 写真③これが

日常の姿勢から体幹意識

がみがうまれ、腰痛などの慢性的な痛みにつながるばかりでなく、上半身、下半身のけがの要因にもなります。そのため「バランス」

肩幅を開きます。そのまま両肩と両かかとを軸にして上体を持ち上げブリッジします。次に姿勢を保つたまま右足を挙げて3点

尻やハムストリングス(も

りますか? もう一度最初

の場合は、膝を軽く曲げ

いたり立って話を

聞いていたらしませんか?

日常生活の姿勢の見直

しや立ち居振舞いの改善

が、ナンバーワンの背筋の強化方法です。日常生活での姿勢から体幹を意識し強化をしましょう。不安のある方は専門家に相談しましょう。

近年の子供たちに背筋力の向上がみられる一方、スポーツ選手

は背筋群のバランスの悪さと筋持久

力を低下がみられます。この連載の第4~24回の柔軟性や身体バランスのチエックで基礎体力づくりから取り組みましょう。

健康アップ体操などを「ライトボディ」ホームページで動画などを使い紹介しています。レスは以下の通りです。http://www.bb1992.com/tra_life/index.html